# 令和５年度富山市大山歴史民俗資料館運営協議会議事概要

１．日　時　令和５年８月３１日（木）　午前１０時から１１時００分まで

２．場　所　大山歴史民俗資料館　研修室

３．出席者　委　員：久保委員、梅沢委員、山森委員、細田委員、深山委員
　　事務局：片山館長、松本職員、真田職員、寺崎職員

４．傍聴者　なし

５．議　題
（１）大山歴史民俗資料館の運営について
　①事業概要について
　②観覧者数の推移について
　③入館者アンケート集計結果
（２）その他

６．主な質疑・意見等
（１）資料館の運営、展示内容について
（委　員）この資料館は地理的に離れた場所にあり、不利である。そこで、他の博物館等と展示の差別化を図る必要がある。富山県は砂防や水力発電で発展した。「砂防・水力発電」をテーマに、展示内容を充実させるのがよい。
（委　員）地域の住民は、発電所からの水が近くを流れていることを知らない。地区の歩こう会で用水の見学ができないか提案してみたが実現しなかった。県に対しても水力発電所のバスツアーの開催を提案したこともある。
（委　員）「水」は富山県の宝である。「水・水力発電」について、北陸電力に協力してもらって、展示を工夫するのがよい。
「富山市里山ハッカソンＩＮ小見」の中で、発電所見学ツアーを実施したらよいという提案もあった。

（委　員）資料館の正面に大きな水車ランナーが展示してある。発電所の不要になった設備を展示用として生かすこともできる。

（委　員）「薬師岳」も魅力のあるテーマである。８月には大勢の登山客がいた。

（委　員）先日、テレビで黒部峡谷、黒部源流を取り上げていた。常願寺川の上流域を含め、奥山のことを多くの人に知ってもらいたい。

（委　員）粟巣野に「百間滑」がある。あまり知られていないが、行ってみると自然の美しさを感じることができる。

（委　員）「百間滑」も水に関わる場所であり、「水」をテーマにすることはよいと思う、有峰湖や黒部湖の水がなくなることはあまりない。

農家にとって水は大切なものであり、有峰湖のよさを伝えてほしい。その水が小水力発電やいろいろなことに使われていることを知ってほしい。

（委　員）防災の観点から、この資料館を拠点にして、ここからバスで立山カルデラの見学に行けるような企画を市や県に要望して、実績を残すことができないか。

（委　員）展示内容を見直す場合には、「水」と「発電」を重視してほしい。発電所には一般の人が気軽に出入りできないので、発電所にある資料を展示したり、発電所見学ツアーを実施したりするのもよい。

（２）学校教育での利用について

（委　員）学校教育の中で、校外学習で利用してもらうにはどうしたらよいか。５月に魚津工業高校が利用しているが、どのような経緯だったのか。

（事務局）高校の先生が見学候補地の事前調査の際、ぜひ生徒にも展示を見せたいという申し出があった。カルデラ砂防博物館の見学後だったので、砂防よりも水力発電を中心に説明をした。

（委　員）カルデラ砂防博物館があまり触れていない内容を展示したり、説明したりするのがよい。

（委　員）昨年度、杉原小学校の児童が利用したのはどのような経緯か。

（事務局）横江頭首工、本宮砂防堰堤の見学とセットで計画された。学校内に大山地域や当資料館のことを知っている先生がいたことも影響している。

（委　員）旧市内の学校がこちらまで来る場合には、ほぼ一日の時間が必要となる。

この資料館の見学だけでは計画が組めないので、どこかの施設とセットにしたり、昼食場所を兼ねて資料館を利用したりすることが考えられる。
展示も小学生が興味をもてる内容を工夫することが大切である。

（委　員）子供たちが「水」をテーマに学習する場合は、横江頭首工とその下流にある分水工、そして上流の本宮砂防堰堤と組み合わせるのがよい。
地域の問題ではあるが、この付近に飲食店がないのは残念である。

（３）大山会館の展示について

（委　員）外に向かってアピールできる場である。大山会館の観覧者数をカウントできる方法があればよい。大山会館に興味をもって利用している人が多くいると聞いている。

（委　員）大山会館の展示は、行政サービスセンターの建物ではなく、ホール側の建物内にあり、分かりにくい面がある。

（４）報道について

（委　員）新聞社の取材はどのような状況か。

（事務局）企画展の開催について市政記者には案内を送付している。春のミニ企画展には新聞社の取材、大山会館の展示にはテレビ局の取材があったが、いずれも展示期間の後半であった。報道してもらうと観覧者は増える。秋には山城の企画展をする。猪谷関所館でも神通川の城の展示が予定されているので、２館合わせて報道してもらえば相乗効果がある。

（５）観覧者アンケートについて

（委　員）アンケートに「分かりやすかった」とか「説明をしてもらってありがたかった」という声がある。来館者にうまく対応している様子に感心した。

（６）総　括

（館　長）資料館の特色を出していくために貴重な提言をいただいた。

・「砂防工事」について、立山カルデラ砂防博物館と連携を図りながら、「立山カルデラ」と「有峰」を紹介する。

・「水」や「発電」に焦点を当ててみる。

・他の施設との組み合わせで見学コースを企画する。

来年度は「常願寺川」をテーマにした企画展を考えており、現在、立山カルデラ砂防博物館ともコンタクトを取りながら調査を進めている。

立山カルデラ砂防博物館の来館者に大山歴史民俗資料館のことを紹介してもらうなど、これまで以上の連携を図っていくところから始めたいと思っている。